



北海道バスケットボール協会
指導者育成専門委員会
2007/10/ 6(土)

タクティクス (HBA指導者育成専門委員会ブログ)

NO. 9

「ブロックエンデバーミーティングに行っていました」

指導者育成専門委員会 委員長 幸丸政実

秋田国体のバスケットボール開催地・能代市で日と同じくして全国ブロックコーチ会議がありました。北海道ブロックのチーフコーチは北本貴史氏ですが、所用のため私が代理で出席することになりました。

国体開催時期にあわせた恒例の会議ということもあって、新しい議題などはなく、今までの事業内容の再確認と普及の進展状況に関する情報交換でした。ここで日本バスケットボール協会が文部科学省から課された「スポーツ振興基本計画」について一般の指導者の皆さんにも紹介しておきたいと思えます。

文科省及びJOCは日本のスポーツを底辺からトップまで一貫した指導体系で結びつける基本構想をもっています。これを「一貫指導システム (エンデバー)」と呼んでいます。バスケットボールもこの基本構想に乗っ取り組織作りと指導プログラム作りを行っているのです。

組織はどうなっているのかというと、まず年齢でU-22 (大学生クラス) U-18 (高校生クラス) U-15 (中学生クラス) U-12 (小学生クラス) に分けます。次に指導体制は日本バスケットボール協会直轄のトップエンデバー (日本代表選手養成) 日本を9ブロックに分けたブロックエンデバー (ブロック選抜選手養成) そして各都道府県協会の中に設置する都道府県エンデバー (都道府県選抜選手養成) の3層に分けます。〈註・北海道では地区協会選抜が都道府県選抜に該当〉

次に指導カリキュラムはどういう狙いで作るのかというと、都道府県の各チームで指導された選手の中から優れた選手がブロックエンデバーの選手に選ばれ、さらにその中からトップエンデバーの選手に選ばれた時、基本的な技術が全員同じレベルであることを前提とするためです。

私が知る限り、現在の指導体制はまだまだ一貫しているとはいえません。例えば中学校の選手を例にとるとオールスターに選ばれた選手はブロックエンデバーのU-15ということになります。一昨年U-15のトップエンデバーのヘッドコーチである愛知の鷲野先生が北海道のオールスターの選手を札幌で指導していただきましたが、その際選ばれた選手は**シェーピング**一つ出来ない有様でした。このことは北海道の津々浦々までエンデバーが目指す一環指導体系が浸透していないことを示します。

このことを分かり易く説明したいと思います。

私は今まで全日本スキー連盟の教育部に所属していましたのでスキーの組織を例にとってお話します。教育部では基礎スキー指導教本や教程がしっかりできていて、全国どこでも同じ指導が受けられるようになっていきます。指導員も教える事が一貫して我流に走ることは許されません。スキーの検定も1級ならこういう技術をクリアしなければならないと決められています。北海道でスキーを習って本州でバッジテストを受けても全然違和感がないように指導体制が確立しているのです。

指導員の研修体制もしっかりしていて全日本専門委員が毎年伝達技術の確認のため中央研修会を開きます。確認が済んだら各都道府県のブロック技術員の研修会を開き伝達講習を行います。講習を受けたブロック技術員が各地に戻り指導員に指導員研修会で伝達講習を行うのです。その指導員がスキー学校にスキーを習いに来た子どもたちにスキーを教えます。だから同じ技術を教える事が出来るのです。

バスケットボールの場合はまだそこまでの統一性がありません。学校単位のチームの部活動は指導者の力量に任されています。数チームを集めて合同練習をやると能力の違いで差がついているのではなく、教えられ方の違いで差がついている事が分かります。エンデバー事業ではこのことを是正して行こうとしているのです。少なくとも基本技術に関しては指導内容を一貫したものにしようということです。

そのためにはしっかりした指導書と伝達講習の場が必要になってきます。日本バスケットボール協会では「エンデバー バスケットボール ドリル」というマニュアルを策定し底辺からの一環指導に取り組む計画です。

今後北海道の指導者の皆さんも我流のバスケットボール指導からマニュアルに基づいた指導に切り替えていく必要があります。これをJABB A公認コーチの研修とドッキングさせて公認コーチの資格を持っている指導者はどのチームでも基本技術はマニュアルに則して同じことを教えるようにしなければなりません。

そのためには指導者の育成体制を確立させなければならないということです。指導者育成専門委員会を地方協会に設置するようになったのもこのような理由からです。今後徐々にではありますがバスケットボールの指導に関する基盤整備がなされることでしょう。強い選手を育てて世界で活躍してもらうため私たちは微力ではありますが**エンデバー=努力**していこうではありませんか。＜了＞

HBA（北海道バスケットボール協会）指導者育成専門委員会